

学校通信

ひがしやま 第5号

発行日 令和7年4月22日(火)
発行者 別府市立東山幼稚園
別府市立東山小学校
別府市立東山中学校
校(園)長 谷川 芳明

○しいたけの駒打ち体験(4/21)

今年も小学生を対象に、田中信行さんの指導の下、駒打ち体験(原木にドリルで駒の入る位の大きさの穴を開け、種駒を埋め込む作業。種駒を埋め込んで、きのこが生える状態になった原木を「ほだ木」と言います)を実施しました。別府市役所農林課の方や「中山間」の方も来ていただきました。二人(三人)一組で、用意していただいた約60本の原木(1本につき、16個の穴)に金槌で、種駒を打ち込みました。

また、特別に6年生には、ドリルで木材に穴をあける体験もさせていただきました。



★★

○地震(4/18)のあとで

早朝から群発する地震の揺れの激しさと子どもたちの様子(泣いたり、不安を訴える)から、9時の段階で保護者に引き渡す判断をしました。4月21日(月)朝、地震について、私から以下の内容について、全校放送を行いました。①4月16日(水)に行った地震を想定した避難訓練が功を奏したこと。地震が収まるまでの間、身体を守る姿勢、また整然と避難する様子は、大変見事だったこと。日頃からの訓練・意識づけが大切。②避難した運動場で、保護者を待つ間、不安を抱える児童の様子をみて、「励ますために、じょんけん大会をやってよいか?」と提案してくれた児童会長さんは、よく気づいたこと。確かにみんな元気になりました。③県教育委員会に派遣要請した緊急スクールカウンセラー(子どもたちがよく知っている小野先生を要望)が来てるから、いろんな気持ちを聴いてもらえること。



今後、不安を感じた時は、いつでも、だれにでも(校長先生でも)相談をして、悩みや不安な気持ちを一人で抱え込まないこと。

④これからも地震発生の可能性は続く。今回の体験や避難訓練の大切さをあらためて考えて、想定して、ご家庭でも備えてほしいこと。これらを伝えています。

【4/18 運動場に避難した児童生徒の様子】